

【令和4年8月16日実施】

近年、熊本地震や、台風による土砂災害、豪雨による水害など、多くの自然災害が発生し、各地に甚大な被害をもたらしています。こうした災害において多くの高齢者や障がい者が犠牲となっており、災害における全体の死者（犠牲者）のうち65歳以上の高齢者の割合は、令和元年台風第19号では約65%、令和2年7月豪雨では約79%となっています。障がい者の避難支援が適切にされなかった事例もありました。

また、被災により高齢者や障がい者など災害時要配慮者が、避難所等において、長期間の避難生活を余儀なくされ、生活機能の低下や要介護度の重度化などの二次被害が生じているケースもあります。

南海トラフ地震も懸念される中、災害時における要配慮者の避難及び避難生活についての課題・解決策についてグループで意見をまとめてください。

【令和4年8月17日実施】

平成30年の国民生活基礎調査によるとわが国の子どもの貧困率は13.5%となっており、依然として高い水準にあり、令和元年11月29日に閣議決定された子供の貧困対策大綱では、子どもの貧困対策の推進に関する法律の趣旨を踏まえ、貧困の連鎖を食い止めるためには、現在から将来にわたって、全ての子どもたちが前向きな気持ちで夢や希望を持つことのできる社会の構築を目指していく必要があるとされています。

そこで、貧困対策に求められる基本的な方針と、具体的な対策について、グループで意見をまとめてください。

【令和4年8月18日実施】

「イクメン」や「イクボス」という言葉をよく聞くようになりました。国においても大臣が積極的に育児休暇の取得を実践するなど、その取得促進に努めてきたところですが、厚生労働省による調査（雇用均等基礎調査）においては、男性の育児休業の取得率は上昇傾向にあるものの、令和2年度では女性の81.6%に比べ、12.65%と、まだ低い水準です。また、取得期間は、5日未満が36.3%、8割が1か月未満となっています。

このような中、令和3年に「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」が改正され、産後パパ育休（出生時育児休業）の創設などにより、さらに育児休業を取得しやすい雇用環境整備等に取り組むこととなりました。

こうした現状を踏まえつつ、女性と比べて男性の育児休業取得率が低い要因と、取得率を高めるために必要な対策について、グループで意見をまとめてください。